

だんだん

放送大学島根学習センター 145号



2024年10月発行

〒690-0061

松江市白潟本町 43 スティックビル 4 階

☎0852-28-5500 fax0852-28-1800

✉ shimane-sc@ouj.ac.jp



◆ 客員教員紹介	 2
◆ 客員教員（談・談）	 3
◆ 行事の報告	 4-9
◆ 行事等の案内	 10-11
◆ お知らせ	 12-21
◆ 同窓会通信	 21
◆ スケジュール	 22



	荒川正晴客員教授 ① 大阪大学 名誉教授 ② 東洋史学	客員教員として島根学習センターに勤務し、5年目になります。私の専門は歴史学で、トウルファンや敦煌と呼ばれるシルクロード上のオアシスから出土した古文書史料を用いて、主に中央アジアと中国の古代史を研究してきました。またシルクロードの交易や東西の文化交流の問題にも取り組んでいます。みなさんが高校で習われた世界史は、おそらく無味乾燥な各国史の寄せ集めだったかと思いますが、それを国家単位ではなくザックリとユーラシア大陸サイズあるいはグローバルレベルで眺めてみましょう。世界の見え方がまったく違ってくるはずです。これから、みなさんの学びのお手伝いができることを楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。
	安齋有紀客員准教授 ① 島根大学 准教授 ② フランス語学	私たちが日常的に行なっている「対話」という言語活動に関心を持ち、フランス語と日本語を対照しながら、音声によるコミュニケーションに観察される様々な言語現象に着目した「話し言葉」の研究をしています。本務校の島根大学では、フランス語・文化関連の授業を中心に行なっていますが、言語文化圏によってなぜ「ことば」の使い方が異なるのか、複数の言語を対照することでそれぞれの言語の特徴がどのように見えてくるのかなど、「ことば」に関する素朴な疑問について学生とともに考えながら、対照言語学の面白さを伝えようと日々取り組んでいます。島根学習センターでは、フランスの文化や言語の魅力を楽しくお伝えしていきたいと考えております。
	大谷みどり客員教授 ① 島根大学 特任教授 ② 異文化コミュニケーション、英語学習における支援	皆さん、こんにちは。昨年より放送大学で客員教員を務めております。私は色々な仕事を経て、いま大学という場で仕事をしています。関心は、異なった文化的背景を持つ人々の間で、どのようにすれば、よりよいコミュニケーションが出来るか、言葉以外に、何が相互理解の壁になりうるのかという「異文化コミュニケーション」と呼ばれる分野と、英語を学ぶ上で、各人が持つ特性がどのように影響するのか、特性をどのように活かせるのか、という点を、支援という側面から考えていく「英語学習支援」の分野です。この二つの領域について、実は個々人が持つ文化的背景や特性が、コミュニケーションや学習に、どのように影響を及ぼすかという点で共通項があります。このような領域に関心のある皆さんと一緒に学べることを楽しみにしています。
	尾崎浩一客員教授 ① 島根大学 名誉教授 ② 生物学・分子生理学	私の研究の専門は主に動物の感覚生理学です。材料としてイカや昆虫の眼を用い、動物が生涯ものを見続けることができるためのメカニズムを中心に研究を続けてきました。ゼミナールでは、分子から細胞、組織・器官、個体、個体集団に至るまで、生物学の広い分野から学生の皆さんが自ら興味のあるテーマを選び、それについて論文、図書、ネット等を利用して調査・議論・発表していただきたいと思っています。環境、加齢、感染症など生物学に関わる問題はますます重要になりつつあります。これに対処するためには、一人ひとりが生物学の正確な基礎知識を取得し、それに基づいて自ら考え、議論しなければなりません。ゼミナールでその力を養っていただければ幸いです。よろしくお願い致します。
	千代章一郎客員教授 ① 島根大学 教授 ② 建築論	今年度から客員教員を務めています。本務校の島根大学では、西洋建築史、日本建築史、現代建築論、都市計画論、建築都市空間論など、建築デザインについて幅広く授業をしています。研究室としては、近代建築のデザイン手法の研究に加えて、松江を対象とした研究にも取り組んでいます。最近では、松江の茶室・庭園などの実測、松江に多くの建築作品を建設した菊竹清訓の共同研究もしています。また一方で、こどもの建築教育などにも携わっています。島根学習センターでは、興味を持った建築作品について、いろいろな角度からじっくりと検証し、ディスカッションを通して、新しい「建築」の見方を発見できればと思います。
	村瀬俊樹客員教授 ① 島根大学 特任教授 ② 心理学	昨年度から客員教員を務めています。乳幼児が、母語としての日本語を獲得する過程を中心に研究を行ってきました。また、ことばの獲得に関する日米比較研究に参加する中で、日本文化の中で形作られる「心」にも関心を持ち、他者の心を推測して自分の行動を調節する傾向がどのように形成されていくのかという研究にも取り組んでいます。放送大学で様々な年齢の方と「心」についてお話しをさせていただき、「心」に対する関心の持ち方が、これまでおもに話をしてきた 20 歳前後の人たちと多少異なることに気づき、新たな研究テーマを得たように思います。皆様と一緒に、人の「心」のおもしろさを考えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



芸術は日常とともに

客員准教授 安齋 有紀

フランス語に《passer une nuit blanche》「眠れない夜を過ごす」という表現がある。《nuit blanche》は直訳すると「白夜」という意味で、パリでは2002年から《Nuit Blanche》という夜通しの現代アートのイベントが行われている。

例年は10月の第1土曜日の夜であるが、今年は6月に開催されたとのこと。この一夜は、美術館など屋内での作品展示だけではなく、屋外でも光や音、映像の融合により、建築物や空間、そこにいる人々も合わせて町中が幻想的な芸術空間となる。

近年はパリ以外の都市や国外にも広まり、日本でも京都で毎年秋に開催されている。パリに留学中、毎年10月は友人とこのイベントに出かけていたが、子供を含めあらゆる年齢層の人々が夜更けのパリをとにかく楽しそうに歩いていた。日本では、高齢の方が夜中に外出しているという光景をほとんど目にしないため、人々と町があまりにも自然に芸術に溶け込んでいる様子がとても新鮮で美しかった。

他にも、毎年6月中旬には《Fête de la musique》という「音楽祭」があり、朝から晩までアマチュア（つまり誰でも）もプロも、町の至る所で自由に音楽を奏で、様々なジャンルの音楽と出会い、楽しむことができる。このような年に1度のイベントだけでなく、例えば多くの美術館や博物館では18歳以下は常に入館無料で、毎月第〇日曜日は年齢を問わず無料のところもある。私も「今月はどの美術館に行こうかな」と、週末の美術館めぐりを満喫した。クラシックのコンサートホールにも破格の学生料金で通うことができた。映画ももちろん。朝と夜は半額という映画館もあれば、全ての映画が3ユーロ（400～500円）という週もあった。芸術は「特別」というより、人々の日常とともにある。

さて、10月最終週の週末に夏時間（サマータイム）が終わる。長い夜を過ごしながら、温かく明るい春の到来を待ちわびる季節の始まりである。



外国語学習よもやま話

客員教授 大谷 みどり

20年以上も前のことになりますが、3歳と6歳の子どもを連れてアメリカに留学した際、子どもたちが英語を学ぶ時のエピソードをご紹介します。

我が子たちは英語が全く分からないにも関わらず、アメリカの保育園と公立小学校に通うことになりました。

エピソードの一つ目は3歳の息子が保育園に通い始めた頃のことです。まだ殆ど英語が話せないにも関わらず、保育園にお迎えに行くと「ジェニファーちゃんの誕生会に呼ばれた!」と、とても嬉しそうにしていました。ジェニファーちゃんは当時、中国から養女として迎えられたばかりで、うちの息子同様、殆ど英語はしゃべれません。どうやって約束が出来たのか聞いたところ息子曰く、ジェニファーちゃんが“Birthday, come! come!”と手招きを含めて誘って(?)、それに息子は“Yes!”と答えたそうです。これでコミュニケーション成立の逞しさに私は驚かされました。

もう一つのエピソードは1年生に入学した娘のことです。当時は日本でも大人しめだった娘は、言葉の壁があるアメリカの学校では一層大人しくなってしまう、親としてはとても心配でした。が、第2言語習得研究第一人者の中島和子先生が海外在住の親に向けて書かれた著書の中の「親御さんたち。子どもたちが外国語をしゃべらなくても半年待ってあげて下さい。」という言葉信じ、しばらく様子を見ることにしました。すると半年後、本当にコップから水があふれるように、娘が英語を話し始めました。改めて、新しい言葉を学ぶ際、聞いて、見てその状況を理解し、言葉を吸収することの大切さを学びました。

日本人は英語を話すことを苦手としますが、AIが翻訳や通訳をしてくれるようになった今日であっても、ジェスチャーや表情、また地道な蓄積が英語でのコミュニケーションを後押ししてくれると思います。皆さんも少しずつ試してみられませんか。

行事の報告

◆学位記授与式◆

令和6年度第1学期の学位記授与式を9月29日（日）スティックビル3階放送大学島根学習センター第1講義室にて開催しました。

学位記授与式には今回卒業された19名の卒業生のうち9名の方々が出席されました。所長挨拶に続き、この度、名誉学生となられた川岡尚さんへの所長表彰が行われました。島根学習センターの名誉学生は9名となりました。出口所長の式辞の後、来賓の島根同窓会の竹下会長からご祝辞をいただきました。

卒業生を代表して出雲市の柳樂真佐実さんが感謝のことばを述べられ、厳粛な中にも華やかに式典が終了しました。授与式終了後、第2講義室にて同窓会主催の卒業を祝う会が開催され、卒業生からの感想や同窓会員からのねぎらいの言葉など、なごやかな雰囲気での懇談が行われました。

卒業生紹介

卒業生氏名等の掲載を了解された方々を五十音順に紹介します。（敬称略）

教養学部教養学科卒業

大場 裕子 【生活と福祉コース】
菊地 登志子 【心理と教育コース】
佃 真理子
柳樂 真佐実 【心理と教育コース】
藤原 博 【人間と文化コース】
細木 颯真 【心理と教育コース】
安永 奉人

川岡 尚 【生活と福祉コース】
高井 広幸 【社会と産業コース】
勅使河原 栄子 【心理と教育コース】
藤原 いずみ 【心理と教育コース】
二岡 友紀 【心理と教育コース】
安井 由江
山田 修 【自然と環境コース】





所 長 式 辞

島根学習センター所長 出 口 顕

「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉がありますが、昨年を凌ぐ過去最高の高温の長い夏がようやく終わろうとしている今日、放送大学島根学習センター令和6年度第1学期の「学位記授与式」を、ご来賓の島根学習センター同窓会会長 竹下靖彦さま、客員教員の先生ご列席のもと執り行うことができました。卒業生の皆さま、本日は誠におめでとうございます。また、ご来賓の皆さまには卒業生の門出の会にご臨席賜りありがとうございます。

今学期卒業される学士19名の皆さまは、面接授業の中止や単位認定試験の実施形態の変更など、新型コロナウイルス感染症に翻弄される生活の中で、困難を乗り越え無事卒業を果たされた方たちであり、その努力と熱意に改めて敬意を表したいと思います。

今年はパリオリンピック、パラリンピックが開催され、日本勢のめざましい活躍が連日のように報道されました。しかしそれとともに、アスリートたちへのSNSでの誹謗中傷も目立ちました。それだけでなく、ヘイトスピーチやフェイクニュースも後を絶ちません。

ゆっくりと理性的思考を知的に展開するというのはSNSやインターネットにはなじまず、そこでは、素早い直感的思考を促進し、直感的思考を行ったことが正しくて「合っている」と感じさせるシステムが働いていることはしばしば識者が指摘するところです。人間は自分が最初から知っていたものの方を正しいと思いやすい傾向がある。人間の脳は知らないことを理解するのにかかるコストや受け入れがたいことそのものが不快感として出てきて、その結果快不快で真偽を判断する癖があるそうです。手間をかけないで受け入れられるものが正しいことになるわけです。このように心地よさという情動ですべてを判断する、その結果がSNSでの誹謗中傷やヘイトスピーチとして現れるようです。また今に限らないのですが、ネットの検索サイトに

は、さまざまなランキングにアクセスできるようになっています。しかし例えばランキングの上位にあげられた本が良い書物とは限りません。ランキングを参考に買った本が面白くなく、失敗したと思うことが何度もあるのは、皆さんも経験があることと思います。そもそもどういう基準でどういう質問をしてどうデータ処理したか、それらのランキングは明確に示してくれません。中には何のためにこんな調査をして発表するのか分からないようなランキングがしばしば表示されています。しかも、ランキングとは下に位置づけられたものを見下したり排除したりする危険性を孕んでいます。

放送大学の授業や教育もはやインターネット抜きでは考えられません。しかし卒業生の皆さんには、心地よいか悪いかという情動ですべてを瞬時に判断するのではなく、少し手間でも自分の目と耳で考えて判断することを願ってやみません。既に放送大学の授業でそのような下地がつくられていると私は確信しています。時代に流されない理性的思考を働かせて、ご自身や社会のよりよい今後を切り開いていかれることを願っています。

本日、学位記を受けられた皆さまにはこの期待をお伝えして私のお祝いの言葉とさせていただきます。本日は本当におめでとうございます。





卒業生代表あいさつ

教養学部教養学科 心理と教育コース
柳 樂 真 佐 実

史上最高の気温を記録したといわれる夏もすぎ、色づく田んぼや虫の声に秋を感じる日々となりました。本日は、私たち卒業生のために学位記授与式を開催していただき、誠にありがとうございます。お忙しい中、ご出席いただいた来賓のみなさま、島根学習センターのみなさまに対して、卒業生を代表して、厚くお礼を申し上げます。

私は公衆衛生業務に従事する医師です。2013年、42歳の時に放送大学に入学しました。2年間の感染症対策に関する専門的な研修を受けて東京から島根に戻ってきたタイミングでした。入学のきっかけは、思い返せばいわゆる中年の危機、というものだったのかもしれませんが。仕事のストレスや、人間関係などで思うところがあり、心理学を体系的に学びたいと思いました。また、仕事である感染症対策でも、予防のための行動をとる人ととらない人の分かれ目はどこにあるのだろうという問いを持っていましたし、リスク管理、リスクコミュニケーションを学びたい、という希望もありました。放送大学には様々な心理学系の科目が展開されていますし、面接授業で心理学実験が開講されていることにも魅力を感じ、「心理と教育」コースへの入学を決めました。

しかし、心理学を学べば、もうちょっと世渡り上手になったり、仕事が捗るようになったりするのかななどという下心は、学びをすすめるにつれて完膚なきまでに粉碎されました。その代わりに、人の心の複雑さや、心の動きを観察しようとする心理学実験の巧みさなど、学問としての面白さに圧倒されました。心理学関連の科目と並行して身体や保健衛生に関連する科目も学び始め、社会福祉に関する科目に手を伸ばし、文学や歴史などの科目へと、在学中に興味の幅も広がってゆきました。本棚に並ぶ教科書は私の足跡であり、今の私を支えてくれる礎でもあります。

そして、改めて感じることは、放送大学という学びの場を整え、守ってくださるみなさんへの感謝です。学習センターは、面接授業の会場であることはもちろん、コロナ禍前までは試験会場でもありました。試験時間の合間に必死で次の試験の準備をしたことも良い思い出です。図書館では充実したラインナップの電子ジャーナルを閲覧することができましたし、映画館や博物館で「大学生料金」が利用できる、というのもうれしかったです。また、ふとしたことでお互いが放送大学の学生だとわかると、距離が一気に縮み、好きな科目の話で盛り上がることもできました。

放送大学は、この11年間、私の学びの伴走者として時に手を引いて導き、時に背中を支えてくれました。今日、いったん区切りとしての卒業を迎えますが、これからも私の学びは続きます。10月から新たな気持ちで、学生生活を続けますので、どうか、よろしくお願いいたします。

最後に、放送大学がこれからも発展し、もっと素晴らしい学びの場になっていくことを願っています。ご指導くださった先生、学習センターのみなさま、本当にありがとうございました。



卒業生からの言葉

出欠の返信にて、「卒業にあたっての感想」を記入していただいた方々を到着順で紹介します。



大場 裕子さん

「知る」ことで、視野が広がることを実感しています。3回目の入学を決めてワクワクしています。関係者の方々に感謝します。

柳樂 真佐実さん

心理学に興味があり入学しました。そこから歴史や文化にも関心が広がり、細く長く続けたひと区切りを迎えることができました。これからも学びを続けます。

高井 広幸さん

69歳までに、再び海外でボランティアを！そのためにはいろいろな知識を学ぼうと始めた学生生活。61歳で始めた苦学生もやっとの事で卒業することが出来ました。

(匿名の方)

日々の生活に追われることもありましたが、楽しく学ぶことができました。人生の糧になったと思います。

勅使河原 栄子さん

この度放送大学で様々な事を学ばせていただき、視野が広がり考え方も変わったりしました。今後の人生に役立たせたいと思っています。ありがとうございました。

二岡 友紀さん

放送大学で学んだ知識をいつか何処かで役立てたい。心理の世界に1歩踏み込めたこの時間はとても充実でした。

山田 修さん

3年前に3年次に編入学しました。仕事をしながら学ぶのは、キツイ時もありましたが、知らないことを学ぶ事は、基本的には楽しいです。今後はもう少し数学を学びたいと思っています。

細木 颯真さん

20代のうちに大卒資格を得ようと思い、転職を機に入学し4年で卒業できました。大変嬉しく思います。4年間、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

佃 真理子さん

いつもお世話になっています。長い期間がかかりましたがやっと卒業できることになり、大変うれしく思っています。ありがとうございました。



川岡 尚さん

在籍17年、このたび7回目の卒業を迎えることになりました。この間に放送大学エキスパート全32学習プログラムも修了することができました。これからは、全国の学習センターで開講される面接授業を受講していきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

菊地 登志子さん

お陰様で卒業の日を迎えることができました。先生方、職員の皆様、本当にありがとうございました。



藤原 博さん

放送大学での学びに関心を持ってから入学まで数年ありましたが、仕事と両立させて神秘的な宇宙や古典文学の世界なども学び卒業を迎えることができ、一つやり終えたことに満足しています。

安永 奉人さん

興味ある分野を自分のペースで学べて日々学習をする習慣ができたのが良かったです。

◆入 学 者 の 集 い◆

9月29日（日）、令和6年度第2学期の「入学者の集い」と「入学者ガイダンス（学友会との共催）」を行い、新入生15名の出席がありました。「入学者の集い」には、来賓の島根県立大学の三島副理事長からのご挨拶と藤嶋学友会会長の歓迎のご挨拶、村瀬客員教授から激励の言葉をいただきました。入学者ガイダンス、オリエンテーション（学習の進め方等の説明）の後、学友会の藤嶋会長からのアドバイスや、先輩の体験談などを聞き、新入生はリラックスしながら、熱心にメモを取る姿もありました。

新入生の皆様には、今後の大学生活が有意義なものになりますよう、職員一同支援いたします。



◆公開講演会◆

8月、9月に松江市と出雲市で公開講演会を開催しました。

「目的や特性に応じた英語の学び方」

島根学習センター客員教授・島根大学特任教授
大谷 みどり 氏

- ・日 時 8月3日(土) 10:00~11:30
- ・会 場 放送大学島根学習センター第1講義室
- ・参加者 17名



「細胞の中の社会—タンパク質の生産と輸送—」

島根学習センター客員教授・島根大学名誉教授
尾崎 浩一 氏

- ・日 時 8月31日(土) 14:00~15:30
- ・会 場 出雲市役所くにびき大ホール
- ・参加者 19名



「フランスと日本：言葉と文化の交流」

放送大学島根学習センター客員准教授・島根大学准教授
安齋 有紀 氏

- ・日 時 9月20日(金) 14:00~15:30
- ・会 場 放送大学島根学習センター第1講義室
- ・参加者 11名



◆出口所長を囲む懇談会◆

2024年8月3日

1年次・2年次のうち、新規で入学された学生さんを対象に、出口所長を囲む懇談会を実施しました。

この会は、放送大学の学生として学習を始められて、新たに経験されたことや日頃感じられていること、また、学習に関する戸惑いや困りごとをお伺いしたいとの出口所長の思いから、今年の2月に初めて実施しました。

今回は2回目で、4名の方にご参加いただきました。

学習の進め方や単位認定試験などに関する疑問や不安に対して所長がアドバイスをするとともに、参加者どうしの情報交換の場としても活用していただきました。

参加された学生の皆さんが、将来の目標達成のために真剣に学習に取り組んでおられる姿を拝見することができ、おかげさまで有意義な会となりました。

今後も継続してこの会を実施する予定ですので、ぜひご参加ください!!



行事等の案内

公開講演会

公開講演会を以下のとおり開催します。事前にお申し込みください。

事前申込先 ☎0852-28-5500

「家族のつくり方の比較文化----死後生殖・代理出産・国際養子縁組」

出口 顕氏・文化人類学（放送大学島根学習センター所長、島根大学名誉教授）

11月2日 土曜日 14:00～15:30 島根学習センター第1講義室

「私たちがものごとを考えるときの心のクセ：認知バイアス」

村瀬 俊樹氏・心理学（放送大学島根学習センター客員教授、島根大学特任教授）

11月16日 土曜日 14:00～15:30 島根県西部社会教育研修センター（いわみーる）

11月17日 日曜日 10:30～12:00 益田市立図書館

「『詩』になる言葉」

山根 繁樹氏・日本近代文学（島根県立大学短期大学部教授）

12月15日 日曜日 10:00～11:30 出雲市役所くにびき大ホール

「シルクロードと日本 -古代出雲は「世界」の交易網とどのような関係をもっていたか?-」

荒川 正晴氏・東洋史学（放送大学島根学習センター客員教授、大阪大学名誉教授）

12月22日 日曜日 14:00～15:30 和鋼博物館

2025年4月入学に向けた「入学説明会・相談会」

2025年4月入学の出願受付期間は11/26～3/11の予定です。

入学説明会・相談会のうち、12月～1月の予定は次のとおりです。

○松江会場 12月21日（土）10時～、14時～ 島根学習センター

○出雲会場 1月12日（日）13時～ 出雲中央図書館



このコーナーの
詳細はこちら

学生研修旅行のお知らせ

学生研修旅行として、鞆の浦など広島県福山市周辺を訪れるバス旅行を計画しています。

日程：2024年11月17日（日） 8:30～18:00（予定）

参加資格：①島根学習センターに所属する学生。 ②前日までに学研災に加入されていること。

募集定員：20名（先着順）

申込締切：10月31日（木）

参加費：昼食代等 2,000円程度

詳細は、同封の旅行案内チラシまたは島根学習センターHPをご覧ください。

島根大学との双方向「単位互換制度」説明会

単位互換制度とは、大学間で単位互換協定を締結し、他の大学等で修得した単位を所属する大学の修得した単位として認定する制度です。

島根学習センターでは、島根大学と双方向「単位互換協定」を締結しています。

1. 出願資格

単位互換校の授業科目を履修できるのは、次の3つの要件をすべて満たしている者で、単位互換校へ通学可能な学生を募集の対象とします。

- (1) 出願時、履修時及び単位認定時に全科履修生である者
- (2) 出願時に本学の在学年数が通算1年以上の者
- (3) 出願時に放送授業科目において30単位以上を修得している者

2. 履修できる授業科目

	島根大学
受講可能科目	原則として医学部を除く島根大学の全ての授業科目が受講可能です。
受講料	1単位当たり 5,500円（1科目2単位:11,000円）
単位互換校の所在地	【松江キャンパス】松江市西川津町1060番地 法文学部、教育学部、人間科学部、総合理工学部 材料エネルギー学部、生物資源科学部

3. 出願から学習修了までのスケジュール

事 項	日 程		備 考
	第1学期	第2学期	
出願相談 申請書類の提出	～1月中旬	～7月中旬	相談窓口・提出先： 島根学習センター
特別聴講学生 受入決定の通知	3月下旬	9月下旬	島根大学から本人 に通知
講義の履修	4月～9月	10月～翌年3月	場所：島根大学
単位認定試験の受験	（履修科目の担当教員の指示を受けてください）		場所：島根大学
成績通知	9月中旬	翌年3月中旬	島根大学から本人に 通知
単位の認定	10月上旬	翌年4月上旬	修得した単位を本学 の単位として認定

4. 2025年度第1学期の単位互換制度説明会を下記のとおり開催します。

日 時	2025年12月19日（木） 14:00 ～ 15:00
場 所	島根学習センター 第2講義室

・**要予約** 島根学習センター Tel 0852-28-5500  shimane-sc@ouj.ac.jp



お知らせ

● 「学生生活の栞」・「利用の手引」（冊子）

『学生生活の栞』は本部より送付したA5版の冊子です。皆さんが放送大学で学ぶにあたってその方法、留意事項、諸手続き等について記してあります。勉学を順調に進めるために、最初にまず通読して全体を理解し、必要に応じて関係事項を参照してください。また、巻末に各種届（願）出の様式があります。

『利用の手引』は、島根学習センターが発行している冊子です。島根学習センターの利用方法、学習方法、諸手続きの方法等について掲載していますのでご一読ください。



● システムWAKABA

参照 『利用の手引き』P12

『学生生活の栞』教養学部 P22-24・P109-111 大学院 P31-33・P104-106

放送大学では学習をサポートするために、インターネットを使用した各種システムを提供しています。このうち学生の皆さんがよく使われるのが「システムWAKABA」です。以下、操作手順を紹介します。

放送大学 web サイト (<https://www.ouj.ac.jp>) からシステム WAKABA にログイン



PC 版:画面上部ヘッドメニュー
>在学生(WAKABA)



スマートフォン:画面右上メニュー
>在学生 WAKABA



放送大学 認証システム

ログインID およびパスワードを入力してください

ログインID:

パスワード:

ログイン クリア

初回パスワードから一定期間システムにログインできません! 行っていないと、ログインできません。ご連絡ください。

【新入生の方へ】
システムWAKABA初回ログイン

ログインID・パスワード（入学許可書に記載）を入力します。
※ログイン後、初期パスワードは必ず変更してください。

◆通信指導◆

参照 「学生生活の栞」 教養学部 P63～68 大学院 P63～68

重 要 !

通信指導は、放送授業が行われる科目および一部のオンライン授業科目について、各学期の途中に1回前半の一定の範囲で出題されます。提出型問題の解答を提出し合格すると、単位認定試験の受験資格が得られます。期限後の提出や未提出は、評価対象になりませんので注意してください。また、今学期より、原則 Web 通信指導による提出（郵送提出科目、単位認定試験を学習センターにしている場合を除く）となりますので問題冊子の送付はありません。詳細については「学生生活の栞」を参照してください。

●提出期間

2024 年 11 月 7 日（木）10:00～11 月 28 日（木）17:00



※郵送による提出（郵送提出科目、単位認定試験を学習センターにしている場合）

2024 年 11 月 14 日（木）～11 月 28 日（木）必着

郵送提出科目・・・「市民自治の知識と実践（'21）」、「日本美術史の近代とその外部（'18）」、「日本政治思想史（'21）」、「空間と政治（'22）」、「文学批評への招待（'18）」

◆Web 単位認定試験・体験会◆

参照 「学生生活の栞」 教養学部 P68～77 大学院 P68～77

○単位認定試験

2024 年度第 2 学期の単位認定試験は、Web 受験方式により実施します（郵送受験方式の科目を除く）。自宅等からインターネットを通じて、Web 単位認定試験システムにアクセスして受験します。試験期間中いつでも受験可能ですが、1 科目 50 分の制限時間があり、各科目 1 回のみ受験可能です。実際の受験の際にスムーズに操作できるよう、受験に使用する予定の端末から、単位認定試験前までに必ず体験版の操作を行ってください。

●提出期間

試験の出題形式により試験期間が異なりますのでご注意ください。

・択一式科目：2025 年 1 月 19 日（日）9:00～1 月 27 日（月）17:00

・記述式・併用式科目：2025 年 1 月 19 日（日）9:00～1 月 23 日（木）24:00

・郵送提出科目：2025 年 1 月 19 日（日）～1 月 23 日（木）、＜必着＞

郵送提出科目・・・「行政学講説（'24）」、「正多面体と素数（'21）」、「日本美術史の近代とその外部（'18）」、「量子科学（'19）」

○単位認定試験体験会

操作体験会を下記の予定で実施します。事前に島根学習センター窓口またはメールでお申込みください。

・島根学習センター 第 2 講義室（4F）・・・各回 定員 3 名
12 月 17 日（火）、1 月 11 日（土）、1 月 15 日（水）
10 時～11 時 14 時～15 時

・浜田市 いわみーる 3F（島根県西部社会教育研修センター）・・・各回 定員 2 名
1 月 9 日（木） 11 時～12 時、13 時～14 時

2024年度第2学期ゼミ

【ゼミとは】

所長、客員教員が専門分野のテーマに沿って開講する、少人数・双方向型の学習会です。講義を聴講するだけでなく、教材をもとに質疑応答などを交えながら学習を深めていきます。学生同士、学生と先生方とのディスカッション等により、コミュニケーション能力（発表および議論の仕方やマナー）、理解力、考え方なども身に付けることができます。卒業研究の履修を希望する学生にはおすすめです。

第1回目はオリエンテーションとなりますので、まだゼミに参加したことがない方もお気軽にご参加いただき、内容などを確認して申し込みをすることもできます。

皆さまの積極的なご参加をお待ちしています。

※ゼミの詳細・申し込み方法は、同封のちらしをご覧ください。



「歴史学基礎ゼミ」

講師：荒川 正晴 客員教授

（定員：8名）

歴史学というのは、どのような学問なのでしょうか？本ゼミは、こうした問いかけに対して、具体的な著作を通して答えてゆくことを目指しています。併せて、歴史学の方法論や考え方を身に付けて頂けるようになれば幸いです。今学期も引き続き、松田壽男『アジアの歴史』（岩波現代文庫）を教材として取り上げます。初回は、前学期のゼミでの議論をあらためて総括しますので、新たに受講される方も支障なくゼミに参加できます。ゼミでは、受講者のみなさんによる報告やディスカッションを重視していますが、各自がアジアを中心にユーラシア地域の歴史について楽しく報告の準備ができるように、それぞれが関心を持つ地域を自由に選んで頂きます。何でも調べてゆくこと必ず新たな発見や気づきがあります。歴史学や歴史に関する予備知識がなくてもまったく構いませんので、難しく考えずに気軽に参加して頂ければと思います。

《開催日時》14:00~15:30

10/25（金）、11/29（金）、12/20（金）、2/21（金）、3/28（金）

「言語と文化—言語を対照する—」

講師：安齋 有紀 客員准教授

（定員：8名）

このゼミでは、フランス語と日本語を中心に、様々な言語を「対照」することで、それぞれの言語の特徴や言語と文化の関係について考えます。そこから、外国語を学ぶヒントも探っていきます。フランス語の知識は不要です。受講生には、これまで外国語を学ぶ中で疑問に思ったことについて発表していただきます。

《開催日時》10:00~11:30

10/24（木）、11/28（木）、12/26（木）、1/30（木）、2/27（木）、3/27（木）



「英語学習における工夫と支援」

講師：大谷 みどり 客員教授

(定員：10名)

英語を学ぶ際における楽しさや難しさを、日本語との違い、学習者個人の特性等を考えながら、自分もしくは周囲の学習者にあった学び方を考えていきます。

《開催日時》10：30～12：00

10/23 (水)、11/15 (金)、12/7 (土)、1/18 (土)、2/8 (土)、3/8 (土)

「生物の不思議～分子から生態まで～」

講師：尾崎 浩一 客員教授

(定員：4名)

生物学に関して興味のあるテーマを自ら設定し、それについて論文、図書、ネット等を利用して各自で調査します。テーマは、分子レベルから細胞、組織・器官、個体、個体集団に至るまで、自分の興味に従って選定します。初回にイントロダクションを行い、ゼミの進め方について説明します。以降は各自の進捗状況の報告と参加者によるディスカッションを行い、最終回には成果報告会を実施します。

《開催日時》14：00～15：30

10/29 (火)、11/26 (火)、12/24 (火)、2/25 (火)、3/25 (火)

「建築のつくりかた」

講師：千代 章一郎 客員教授

(定員：10名)

興味を持った建築作品（日本でも海外でも構いません）について、文献調査、もしくはフィールドワーク調査を行います。いろいろな角度からじっくりと検証し、ゼミでのディスカッションを通して、新しい「建築」の見方・感じ方から「建築」のつくり方に議論を広げていきたいと思います。

《開催日時》10：30～12：00

11/5 (火)、12/3 (火)、1/7 (火)、2/4 (火)、3/4 (火)

「実験・調査を通して知る心の仕組み」

講師：村瀬 俊樹 客員教授

(定員：10名)

心理学が対象とする「心」は、感情的側面だけではなく、認知的側面、行動的側面が含まれます。「心」は人による違いもありますが、多くの人に共通する法則性もあります。このゼミでは、認知・行動面を中心に、感情面を含めて、実験や調査で明らかになった多くの人に共通する「心」の法則性について考えます。参加者の皆様の関心と教員の守備範囲をすり合わせてテーマを決定し、参加者の皆様にテーマに関して発表をしていただきます。教員がファシリテーター（司会者）となって、発表者と他の参加者（聞き手）の皆様で話し合いを行い、発表者・聞き手、それぞれの立場で考えを深めていただけるようにしたいと思います。

《開催日時》10：30～12：00

10/30 (水)、11/20 (水)、12/18 (水)、1/29 (水)、2/19 (水)、3/19 (水)

● 学習相談のお知らせ

学習の方法や進め方など、修学上の疑問や質問について客員教員等による対面またはオンライン方式で学習相談を実施します。学習相談票に相談内容を記入し、相談日の3日前までにご提出ください。

- ・相談時間：お一人 1 時間以内
- ・学習相談票は窓口、または島根学習センターウェブサイト Word と PDF ファイルを用意していますのでご活用ください。



教 員 名（専門分野）	学 習 相 談 日	
荒川 正晴（東洋史学）	11月	8日（金） 13:00～16:00
		15日（金） 13:00～16:00
	12月	6日（金） 13:00～16:00
		13日（金） 13:00～16:00
安齋 有紀（フランス語学）	11月	7日（木） 9:30～12:30
		21日（木） 9:30～12:30
	12月	5日（木） 9:30～12:30
		19日（木） 9:30～12:30
大谷 みどり （異文化コミュニケーション・ 英語学習における支援）	11月	2日（土） 9:30～12:30
		20日（水） 9:30～12:30
	12月	13日（金） 9:30～12:30
		18日（水） 9:30～12:30
尾崎 浩一（生物学・分子生理学）	11月	12日（火） 14:00～17:00
		19日（火） 14:00～17:00
	12月	3日（火） 14:00～17:00
		10日（火） 14:00～17:00
千代 章一郎（建築論）	11月	12日（火） 9:30～12:30
	12月	10日（火） 9:30～12:30
村瀬 俊樹（心理学）	11月	6日（水） 13:30～16:30
		27日（水） 9:30～12:30
	12月	4日（水） 13:30～16:30
		25日（水） 9:30～12:30
出口 顕（文化人類学）	随時（出勤日）	

【問合せ】放送大学島根学習センター ☎0852-28-5500 fax0852-28-1800 ✉shimane-sc@ouj.ac.jp

2024 年度第2学期 島根学習センター開設の面接授業一覧

★印は追加登録ができない科目です。

授業実施日	科目区分・ナンバリング	定員	科 目 名	担当講師名
10月12日(土) 10月13日(日)	専門：社会と産業 310(初級)	40	★世界の都市景観	菊池 慶之 (島根大学法文学部・准教授)
10月12日(土) 10月13日(日)	導入：人間と文化 210(初級)	40	★山陰地域の民俗文化	中野 洋平 (島根県立大学人間文化学部・准教授)
10月19日(土) 10月20日(日)	専門：人間と文化 310(初級)	40	★日本近代文学入門	武田 信明 (島根大学法文学部・名誉教授)
10月19日(土) 10月20日(日)	専門：自然と環境 320(中級)	40	★生物発生進化と性分化	西川 彰男 (島根大学生物資源科学部・名誉教授)
10月26日(土) 10月27日(日)	専門：生活と福祉 320(中級)	40	人体発生学	橋本 龍樹 (島根大学医学部・教授)
10月26日(土) 10月27日(日)	専門：社会と産業 310(初級)	40	朝鮮半島政治論 ※ 実施会場： 10/26 島根県立大学浜田キャンパス 10/27 “いわみーる”(島根県立西部社会教育研修センター内)	福原 裕二 (島根県立大学国際関係学部・教授)
11月 9日(土) 11月10日(日)	基盤：外国語 120(中級)	40	英会話とオンライン学習ツール	クリス ラング (島根県立大学人間文化学部・准教授)
11月30日(土) 12月 1日(日)	専門：心理と教育 320(中級)	20	心理検査法基礎実習	高見 友理 (島根大学人間科学部・教授)
12月 7日(土) 12月 8日(日)	専門：生活と福祉 310(初級)	40	栄養管理について学ぼう！	澤 幸子 (島根県立大学看護栄養学部・准教授)
12月14日(土) 12月15日(日)	専門：情報 320(中級)	20	情報化社会とボランティア活動	山田 恒夫 (放送大学情報コース・教授)
12月21日(土) 12月22日(日)	専門：心理と教育 320(中級)	40	特別支援教育	西村 健一 (島根県立大学人間文化学部・教授)

◆面接授業の追加登録◆

追加登録の申請方法として、2024 年度第 2 学期より「事前申請」もしくは「先着申請」による方法で受付を行います。「事前申請」→「先着申請」の順に受付を行います。
事前申請は、専用フォームもしくは窓口で受け付けております。詳細は下記の通りです。
※追加登録とは、面接授業の定員に空席のある科目について登録申請することです。
希望する面接授業を開催する学習センターへお申し込みください。

◆面接授業追加登録の流れ◆

スケジュール		追加登録方法
空席発表	10 月 11 日（金） 15 時	空席のある科目と人数をシステム WAKABA で発表
事前申請受付	空席発表～ 10 月 16 日（水） 13 時	開設する学習センターのウェブサイトまたは窓口で、 面接授業の追加登録を申請
抽選	10 月 17 日（木）	事前申請のあった面接授業の抽選の結果、当選者には キャンパスメール（学生番号@ouj.ac.jp）で連絡
（事前申請当選者） 授業料納付	10 月 24 日（木） 17 時まで	当選した面接授業を実施する学習センターに授業料納付
先着申請受付	<u>10 月 17 日（木） 15 時以降</u>	事前申請で満席とならなかった場合、申込を受けま す。 原則開催日の 7 日前まで（科目ごとに期限日が決まっ ています。） 面接授業を実施する学習センターへお申し込みください。

■申 請 方 法（島根学習センターで開設する面接授業のお申込み方法です）

◇事前申請：10 月 11 日（金）15 時～10 月 16 日（水）13 時

1. ウェブサイトからの申請

島根学習センターウェブサイトの「お知らせ」欄から、入力フォームへアクセスしていただき、
必要な事項を入力してください。

2. 学習センター窓口での申請

「追加登録申請書」に必要な事項を記入し、学習センター窓口へ提出してください。

※「追加登録申請書」を郵送することも可能ですが、10 月 16 日（水）13 時必着です。昨今の郵便事情から
配送が遅れることが予想されますので、ウェブサイトからの申請を推奨します。

3. 授業料納入：10 月 24 日（木）17 時（必着）

当選の連絡が来たら、①学生証、②授業料（当選メールにてお知らせした金額）、③追加登録申請書を
学習センター窓口へご持参または現金書留（返信用封筒同封）にて納入してください。

◇先着申請：10 月 17 日（木）15 時以降

1. 窓口での申請：窓口①面接授業科目登録申請書、②学生証、③授業料（1 科目 6,000 円） をご持参ください。

2. 郵送での申請：面接授業担当宛に①面接授業科目登録申請書、②学生証のコピー、 ③授業料（1 科目 6,000 円）、④返信用封筒（110 円切手貼付） を現金書留にて郵送してください。

申請書は、面接授業開設科目一覧冊子巻末にあります。

システム WAKABA より入手も可能です。

（学習センター窓口にも備え付けてあります。）

窓口受付時間【火～日】9 時 30 分～17 時 30 分

放送大学 Web サイト
内の追加登録案内は
こちら →



【島根学習センター窓口での申請】

下記の2点を持参の上、島根学習センター窓口で申請してください。

- ① 必要事項を記載した「諸証明書交付願」
- ② 手数料1通につき200円

【郵送での申請】

下記の3点を同封し島根学習センターまでお送りください。

- ① 必要事項を記載した「諸証明書交付願」
- ② 手数料1通につき200円（現金書留か郵便定額小為替を購入して送付してください）
※普通郵便で現金を送ることは禁止されています。
- ③ 返信用封筒（長形3号：A4判を3つ折で入れることができる大きさ）に宛名を明記のうえ、
切手を貼付（50gまで110円、それ以上の場合は事前にお問い合わせください）

証明書の種類によっては発行に時間がかかるものもあります。ゆとりをもってお申し込みください。

諸証明書交付願は窓口、「学生生活の栞」の巻末、システム WAKABA からダウンロードで入手できます。

● 学生証の交付について

学生証の交付を所属学習センターで行っています。

【窓口での交付】

新規入学・継続入学の方 → 入学許可証（ハガキ）をお持ちください。

在学生の方 → 有効期限切れの学生証をお持ちください。

全科履修生の学生証の有効期限は2年です。

在学期間とは異なりますので、注意してください。

【郵送での交付】

下記の書類を同封し、島根学習センターまでお送りください。

- ① 郵送による学生証交付願（下記用紙）
- ② 返信用封筒（宛先を明記のうえ、特定記録郵便320円分の切手を貼付）
- ③ 入学した方 → ①、②と入学許可書のコピーと顔写真付きの公的な身分証明書（運転免許証等）のコピー
在学生の方 → ①、②と有効期限切れの学生証



有効期限をチェック！

✂ キリトリ ✂

郵送による学生証交付願

学生番号 _____ 氏 名 _____

生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 電話番号 _____

住 所 〒 _____

学生の種類 （○で囲んでください）

全科 選科 科目 修士全科 修士選科 修士科目 博士全科 特別聴講 集中・司書

2024年度所長・客員教員推薦図書のご紹介

所長および客員教員による推薦図書を図書・視聴室に配架しました。
閲覧の際は図書・視聴室内にてご利用ください。



・ユーラシア東西ふたつの帝国 アジア人物史3

姜尚中【総監修】/集英社

・中央ユーラシア文化辞典

小松久男【編集代表】/丸善出版株式会社

・玄奘三蔵がつなぐ中央アジアと日本

近本謙介/影山悦子【編】/臨川書店

・古代インドのアングリマーラ伝承

白須浄真【編】/法蔵館

・中国地方 日本地方地質誌6

日本地質学会【編】/朝倉書店

・日本で学ぶ文化人類学

宮岡真央子ほか【編】/昭和堂

・ダメになる人類学

吉野晃【監修】岩野邦康ほか【編】/北樹出版

● 情 報 募 集 (地域貢献ボランティア活動)

ボランティア活動をなさっている皆さん、こういった活動をなさっていますか？

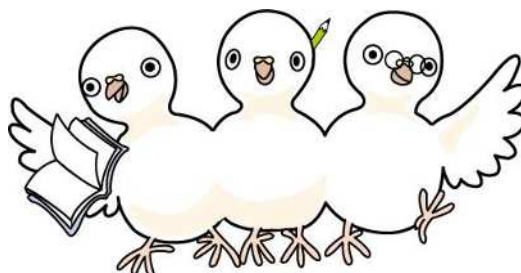
放送大学では、学生同士の交流や、より活発な活動に役立ててもらおうと、ホームページに全国各地で地域貢献ボランティア活動をする学生の情報を紹介しています。

自分が行う活動を放送大学ホームページで紹介してみようと思われる方は、下記連絡先までお知らせください。折り返しご連絡の上、調査シートをお送りします。

連絡先：電 話 0852-28-5500 メール shimane-sc@ouj.ac.jp

◎放送大学 WEB サイト ―地域貢献活動の取り組みについて―地域貢献活動をする学生の紹介

<https://www.ouj.ac.jp/pj/member.html>



西部地域にお住まいの学生のみなさまへ（浜田・益田コーナー）

島根県西部地域に居住する学生も容易に放送教材の視聴、貸出が利用できるように浜田市と益田市に再視聴施設があります。お近くの方はご利用ください。なお、利用時間、利用内容については「利用の手引き」（18頁、19頁）をご覧ください。

浜田コーナー

島根県立西部社会教育研修センター内
（いわみーる3階）



益田コーナー

益田市立図書館内
（カウンターでお問い合わせください。）



★全ての科目を配架してはおりません。浜田・益田コーナーでの視聴を希望する場合は、履修している授業科目の放送教材が配架されているかを、各コーナーまでお問合せください。ない場合は配架を依頼するかパソコンで視聴してください。

★西部履修相談について（予告）・・・2月14日（金）（益田）、15日（土）（浜田）で行う予定です。詳しい日時は次号の『だんだん』でお知らせいたします。

島根同窓会通信（47）

2024年10月現在 会員数 70名

2024年度第1学期卒業を祝う会を開催

同窓会恒例行事「2024年度第1学期卒業を祝う会」は、晴れの卒業生5人が出席され、出口所長、村瀬客員教員、藤嶋学友会長、卒業生が参加して開催しました。

卒業に至るまでの道のりや入学した動機、今後への取り組み等を語られました。



「ジャイカでの青年海外協力隊に派遣され、赴任してきたが新たに有機農業について2回目の派遣のため、放送大学で学んで来た。さらに次の協力隊に希望派遣を申請のため、センターの生物の尾崎ゼミで学び有機農業のテキストの翻訳中」「名誉学生の称号を受け、選科として再入学して全国の学習センターに赴き制覇をしたい。現地では全国から参加されていて、学生との交流も楽しい」「以前はセンターに来ないと視聴も単位認定試験も受けられなかったが、制度が変わりWebとなって、忙しい私にとって大変良くて履修が進み卒業ができた」「コロナ禍でスポーツ大会が中止となり暇ができたので、友人の勧めで入学して心理学を学び人格形成ができて感謝です」「勉強が好きで大学に進学を希望していたが、財政的に無理があり、社会人となり金を貯めて入学して4年間で卒業できた」などなどでした。

意見交換では大学への要望として、名誉学生に対するメリットがなく、せめて入学金の徴収はやめるべき、高単位取得学生への表彰もできないか、などの要望が出されました。

アカデミックガウン姿で卒業記念写真

1学期は2人（男性、女性）の卒業生から撮影希望があり、ガウン姿で撮影しました。折角の機会ですので、2学期はさらに多くの撮影希望者が現れることを役員一同期待します。

スケジュール

【ゼ】ゼミ

【相】学習相談日 ●面接授業

11月			
日	曜	行事	面接授業
1	金		
2	土	公開講演会【相】大谷	
3	日	閉所日	
4	月	閉所日	
5	火	【ゼ】千代	
6	水	【相】村瀬	
7	木	【相】安齋	
8	金	【相】荒川	
9	土		●英会話とオンライン学習ツール
10	日		
11	月	閉所日	
12	火	【相】尾崎【相】千代	
13	水	図書視聴室閉室	
14	木		
15	金	【ゼ】大谷【相】荒川	
16	土		
17	日	学生研修旅行	
18	月	閉所日	
19	火	【相】尾崎	
20	水	【ゼ】村瀬【相】大谷	
21	木	【相】安齋	
22	金		
23	土	閉所日	
24	日		
25	月	閉所日	
26	火	【ゼ】尾崎	
27	水	【相】村瀬	
28	木	【ゼ】安齋	
29	金	【ゼ】荒川	
30	土		●心理検査法基礎実習

12月			
日	曜	行事	面接授業
1	日		●心理検査法基礎実習
2	月	閉所日	
3	火	【ゼ】千代【相】尾崎	
4	水	【相】村瀬	
5	木	【相】安齋	
6	金	【相】荒川	
7	土	【ゼ】大谷	●栄養管理について学ぼう！
8	日		
9	月	閉所日	
10	火	【相】尾崎【相】千代	
11	水	図書視聴室閉室	
12	木		
13	金	【相】荒川【相】大谷	
14	土		●情報化社会とボランティア活動
15	日		
16	月	閉所日	
17	火		
18	水	【ゼ】村瀬【相】大谷	
19	木	【相】安齋	
20	金	【ゼ】荒川	
21	土		●特別支援教育
22	日		
23	月	閉所日	
24	火	【ゼ】尾崎	
25	水	【相】村瀬	
26	木	【ゼ】安齋	
27	金		
28	土	閉所日	
29	日	閉所日	
30	月	閉所日	
31	火	閉所日	



開所時間 9:30~17:30

2020年度以降、単位認定試験が自宅受験となり、学生さんが学習センターに来所される機会がなくなりました。当学習センターの図書・視聴室では、放送授業を視聴できるタブレットや、自己学習ができるテーブルを設置しています。自宅での学習から少し気分を変えて、この図書・視聴室を利用してみてもいいでしょうか。また、相談室もありますので事前に予約しておけば、分からないことなど、職員に質問や相談をすることもできます。どうぞお気軽にご利用ください。お待ちしております！（坂根）